

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後なかよしくらぶ			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数)	30人
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数)	17人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の特性に合わせての、細かい支援の設定	個別支援計画をもとに、毎月の状況をスタッフ全員でアセスメントしスモールステップの月間目標を設定して支援を行っている。くらぶと連携し同時に申し送りを行う事で、より多くのスタッフからの意見などを取り入れている。	日々の支援結果をしっかりと記録・共有し、よりよい支援方法に繋げていく。
2	季節ごとのイベント企画	季節感を大切にし、季節行事として毎年行っているが、活動内容が昨年と同じにならないよう、全スタッフからアイデアを出して企画をしている。	スタッフそれぞれの得意を生かし、様々なツールからもアイデアを探していく。過去の企画書なども参考にしながらより楽しく、参加しやすい企画をスタッフ全員が立案していく。
3	デイ・家庭・学校・その他関係機関との協力体制	送迎時や個別活動記録の報告以外にも、保護者と責任者が連絡を取りやすい方法を確立している。担当者会議にも積極的に参加し、関係機関との現在の支援についての確認と相談、支援方法について統一を図っている。	責任者だけでなく、スタッフ個々のスキルアップを行い、誰にでも相談しやすく、同じ情報を持っているように全体MTGや日々の申し送りで共有していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族への施設開放日が年に1回なので、日程から参加が難しい保護者は実際の支援の様子が見られない。	企画としてスタッフ確保の難しさや、利用者の安全面考慮から現在は夏に1回のご家族参加のイベントを企画している。	今は夏祭りのイベント時を開放日に行っているが、通常時でも開放週間などを設定し、実際の支援の様子を見に来ていただける機会を増やしていく。
2	送迎の時間帯にスタッフが少なくなってしまう。	お迎え先が多く、下校時間・バス到着時間にバラつきがあり、まとまった送迎が難しい。	支援前の申し送り時に、送迎などでスタッフが一時的に少なくなる場合、どのようにフロアにいるスタッフで連携し注意が必要なのかをしっかりと確認していく。また、必要な場合にはなかよしくらぶのスタッフとも連携して支援を行っていく。
3	個別の活動が多く、集団活動の時間が少ない。	特性上、集団活動が苦手な利用者が多い。	以前よりも集団での活動内容、時間は増えてきているが、特性に合わせて様々な集団活動を行い、結果から内容の再検討をしていく。